

学術情報研究センターの開所

3月24日、附属図書館、教育資料館、情報処理センターの三つの施設が統合され、学術情報研究センターがスタートしました。

本学はその目標の一つに「高い知性と豊かな教養を備えた人材、とりわけ人間形成に関する専門的力量を備えた有能な教育者を育てることを使命とする」を掲げています。この目標を実現するために、本学では「学部二課程の再編」「大学・大学院における教員養成推進プログラム」「新世代を先導する理数科教員養成プログラム」「教育大学の特色・地域性を生かした芸術療法の総合的研究」など様々な取り組みがなされています。

そのような取り組みをより推進するために、また同時に、本学の学術情報活用機能向上をはかるために、学術情報研究センターの設置が平成16年度より検討されてきました。

センターは「図書館部門」「情報基盤部門」「研究開発部門」の三部門から構成されており、これまでの三つの建物は、それぞれ「図書館」「情報館」「教育資料館」と呼ばれることになりました。

新センター設立により、すでに始まっているWeb上での図書検索サービス

ス（「蔵書検索」本学図書館蔵書がキーワード検索できる）、NACSIS Webcat



挨拶する長友センター長

（全国の大学図書館の所蔵資料の検索）、Genii（論文情報等の検索）やWebからの文献複写や図書貸借サービス（各研究室のパソコンからWebを利用して図書の貸借、文献複写を図書館に申し込むシステム）や電子ジャーナルのサービスが、今以上に強化されていきます。また、図書館所蔵の貴重書と大型コレクションの電子化による閲覧サービス

が、さらに進められていきます（現在「興福寺南院文書 52綴（1533年）1862年」「奈良晒関係文書 74綴（1783年）1882年」「東大寺執金剛神縁起絵巻（上・下巻（中巻を欠く）江戸後期か明治初期の写本）」「奈良絵本コレクション」「女筆手本類解説」などが閲覧できる）。

また、世界遺産に関するビジュアルな情報を提供する「世界遺産ミニシアター」（教育資料館）や、一人ひとりの子どもが絵本を気軽に楽しめる「えほんのひろば」（図書館）は、地域の方々にも活用していただけるコーナーになっています。情報館では、対象者に合わせた情報の発信・提供に関して技術的サポートを行うとともに、これからの学校現場・社会に役立つ人材育成に必要となる学習環境の一つとしての、キャンパスネットワークの運用を、より一層充実するように進めていきます。

ホームページ作成、ワードによる文書作成、デジタルコンテンツを活用した教材作り、親子で楽しむIT講座などの公開講座が予定されています。

新センターには、研究開発部門が設置され、専任の教員を中心に、電子メディアを活用した学術情報の収集・発信の方法や実践について研究が進められます。インターネットによる図書館サービスの充実や電子化された情報を収集し提供するデジタ

ル・アーカイブの研究、世界遺産のデジタルコンテンツ化を初めとする展示の企画方法に関する研究など、旧三施設を統合した利点を生かす図書館サービス・展示企画・キャンパスネットワーク運用の推進に役立つ知見の検証や開発に寄与することが期待されます。

奈良教育大学学術情報研究センターは、図書などの学術情報のフレンドリーな提供、役立つ情報との出会いをもっと楽しいものに、身近なものになりつつある最新のICT（Information and Communication Technology）と安心してつき合えるように、本学学生のみならず、地域に開かれた役割を担っていくとしていきます。

お問い合わせ 学術情報研究センター

図書館

0742-27-9137
lib-service@nara-edu.ac.jp
<http://www.nara-edu.ac.jp/LIB/lib.htm>

情報館

0742-27-9703
ipc-staff@nara-edu.ac.jp
<http://www.nara-edu.ac.jp/IPC/ipc-home2006.htm>

教育資料館

0742-27-9135
lib-service@nara-edu.ac.jp
<http://www.nara-edu.ac.jp/LIB/siryokan.htm>